



牧野 修司 社長

まきの・しゅうじ/糸島市出身。1974年9月23日生まれ。43歳。福岡大学工学部卒。09年3月に同社を設立し、社長に就任



企業DATA	
所在地	〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-45 Qiz TENJIN 9F
TEL	/092-737-1101 FAX /092-737-1120
設立	/2009年3月 資本金/9,000万円
事業内容	賃貸管理事業、賃貸仲介事業、売買仲介事業、企画コンサルティング事業、リノベーション事業 年商/20億1800万円(17年4月期)
従業員	/61人(グループ連結103人) 出先/(賃貸ショップ) 天神店、平尾店、博多筑紫口店、西新商店街店、箱崎店、イムズ店、FC藤崎店 関連会社/株Goodホームデザイン、株Goodリアルエステート、株GoodLife福岡
URL	/http://www.good-fudousan.co.jp
採用情報	
募集職種	/総合職(営業セクション、リノベーション営業セクション)、事務職
応募資格	/短大、専門、大学、大学院新卒見込み、同既卒(2016年以降)
採用実績	/2017年5人、2018年3人 採用予定/10人程度
問合せ先	/TEL.092-737-1188 担当/重安、宮西

賃貸管理、仲介など総合不動産業

“不動産×IT×人”掲げた新中計スタート

(株)Good不動産

基軸となる管理事業で管理戸数1万2,000戸を突破した(株)Good不動産は、2022年までの新たな中期経営計画をスタートさせた。計画内では“不動産×IT×人”を企業スローガンに掲げ、人材の育成と業務の最大効率化を図る。上場の準備も本格化し、「不動産の総合サービス企業」へと着実に歩みを進めている。

AIを導入し業務の最大効率化図る

中期経営計画内で掲げる“不動産×IT×人”は、IoTや不動産TECなど近年注目が集まっている技術を不動産業に掛け合わせることで「業務の最大効率化」と「情報の透明性」、そして、人材の育成を円滑に進めていくものだ。

企業の成長を支える優秀な人材の獲得が少子化の影響で難しくなる中、少ない人数で多くの業務をこな

せる環境づくりは企業にとって課題といえる。書類のやり取りが多い同業界で、同社では3年前からIT技術を導入し、業務上のペーパーレス化に取り組んできたことで、大きな成果を上げてきた。

「現在開発しているAI(人工知能)が稼働すれば、仲介店舗での問い合わせや管理物件のトラブル対応、適切な家賃設定など、既存の社員が負担している業務を少なくすることができる。結果的にサービスの質向上

にもつながる」と話す牧野社長。昨年12月にはオーナー向けアプリをリリースし、スマホやタブレットの画面上で問い合わせや入金状況などを確認できる仕組みを導入したが、将来的には同アプリにもAIを組み込んでいく予定だ。

「これらの仕組みが順調に回れば、現在の人員に対して負担を増やさずに、事業を拡大することができる。また、ITをベースに透明性のある情報をリアルタイムに発信することで、オーナー様やお客様と当社の間で情報の格差が生じないようにしていく」と牧野社長はIT技術を導入する狙いを説明する。

グループ多角化は「人材の受け皿」

現在、グループの軸となる管理事業を中心に賃貸仲介・売買仲介・リノ

ベーションとといった各事業の底上げを図っている同社。同時に金融や保険、相続コンサルタントも視野に入れた「不動産の総合サービス企業」へと変わろうとしている。総合的な提案ができれば、これまで以上にオーナーをサポートできるからだ。加えて、人材育成においても事業の多角化は重要なポイントだと強調する。

牧野社長はその理由を「当社が人材を採用する際に重要視するのは、まじめで、誠実で、努力を惜しまずに物事に取り組めるか、ということ。その素質を持つ人は、賃貸仲介や管理の仕事が向かなくても、他の事業部で力を発揮できると信じている」と語る。

人材の受け皿を増やすことで、社員が活躍できる場を提供する。同時にそうした人材が提案力や人間力を身につけられるよう、社員研修などの人材育成に力を注ぎ、自己成長の

バックアップ体制を強化している。

上場に向けて本格始動

中期経営計画内では、管理戸数2万戸、仲介店舗10店舗体制、シニア事業への参入など、多くの目標を定めている。その一つに株式上場がある。すでに証券会社や監査法人との協議に入り、今後は本格的な上場準備が進められる。

「地場で上場している不動産業は少ない。上場を果たすことで、ブランディングの向上につながるだけでなく、信用力も高まる。これまで以上にオーナーに有益なサービスを提供するとともに、透明性のある企業として、さらにオーナーから信頼して頂くとともに、社員にも安心して長く働ける環境を整えるために上場を一つの手段として、着実に成長したい」。牧野社長は力強く語った。